

南区 伝馬学区 避難所マップ

気を付けて!(地震編)

- 空き家
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険がある。
- 古い(高い)ブロック塀
大きな地震では倒壊する危険があるためすぐ離れる。近づかない。
- 狭い道
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通れなくなる可能性がある。
- 電線
切れた電線は停電時でも感電の危険がある。近づかない。
- 瓦屋根
大きな揺れの際には瓦の落下危険がある。瓦屋根のある家屋に住んでいる方は、あわてて外に飛び出さない。

津波避難のポイント

- 歩で避難を
原則、車で避難しない。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになる。
- 海岸や川沿いには近づかない
地震の後には、護岸や堤防が被害を受けている可能性がある。非常に危険なので近寄らない。
- 寄り道はしない
津波からの避難は一刻を争うため、家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、周囲に声をかけながらまっすぐ避難先に向かう。



南区役所からのお知らせ

◆南海トラフ巨大地震について

伝馬学区は津波（0.3m～2.0m）の浸水が想定される地域です。南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋港への津波到達時間は最短で96分と予測されており、遡上はその後から始まります。この時間を最大限使いて、みんなで助け合いましょう。

◆台風について

避難情報発表前の**自主避難**は、南区役所に**事前に連絡**をお願いします。食料、水、毛布などをご持参ください。

南区役所（総務課）052-823-9315

◆伝馬学区の防災情報を知りたい方はこちらのURLをチェック↓

(地区防災カルテHP)

<http://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000110628.html>



伝馬学区 大地震発生時の行動マニュアル

地震発生

2分

5分

10分

半日

①地震だ！まずは身の安全（家の中）

とにかく自分の身を守る、落下物から身を守りましょう！

- ・机の下に入る
- ・クッション、雑誌などで頭を守る
- ・家具から離れる
- ・ガラス面から離れる

しっかり机の脚を
おさえる！



②大揺れが収まったら、火の始末

しっかり火の始末で火災阻止！

- ・台所やストーブなど火の始末をしましょう
- ・避難の際は、ブレーカー・ガスの元栓を切っておきましょう



火が出たらすぐに初期消火！

- ・「火事だ！」と大声で叫び、隣近所に協力を求める
- ・消火の備えや消火訓練を怠らずに！



揺れが収まってから
落ち着いて！

③我が家家の安全確認！

- ・家族の安全確保、確認
- ・災害情報、避難情報の入手
- ・ガラス片や転倒家具に注意
- ・避難時には避難先のメモを残す



揺れが収まったら
出口の確保！



正しい情報
の入手！

あわてて外に飛び出さない！

- ・むやみに外に出るのは危険です
- ・周囲の状況を良く確かめて、落ち着いて行動しましょう

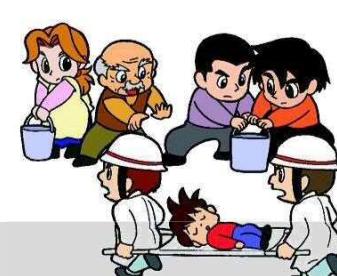


戸を開けて出口の確保をする！

- ・マンションなどは地震の揺れでドアが歪み、閉じ込められることがあります
- ・戸を開けて出口の確保をしましょう

正しい情報で行動する！

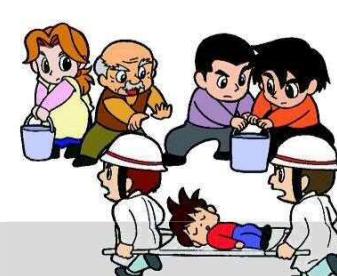
- ・災害時はデマなどに惑わされやすくなります
- ・報道機関や区市町村、消防署、警察からの情報に注意しましょう
- ・携帯ラジオを準備しておきましょう



④一時集合場所（自主防災会指定の場所）に集まって助け合い！

- ・倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人を救出
- ・火災発生時の消火活動
- ・ケガ人の救護

あなたの町内の一時集合場所を書いておこう！



⑤避難後、数日間

2～3日は自分でしのぐ！

- ・地震発生後の数日間は水道・電気・ガス・電話などライフラインを始め食料の供給が途絶えます
- ・2～3日は自分でしのげるよう、生活必需品を備えておきましょう



裏面の～避難所マップ～も見てね